

内弟子体験 ジェレミー・ネフ



無事に日本に、そして合気道小林道場に着いた時、内弟子として始めて出た稽古は11時半からの総師範稽古でした。その時直ぐに受けた印象は、総師範からのポジティブなエネルギーでした。そのエネルギーのおかげで道場の皆さんが笑顔で稽古をしていました。私も将来、総師範のようなエネルギーを持って合気道を教えるようになりたいです。

初めての稽古が終わってから直ぐに、掃除の修行が始まりました。毎日起きて、掃除して、稽古して、食べるだけの生活が始まりました。最初のうちは、まだ何をすべきかはっきり分かりませんでした。内弟子生活が進んでいくにつれて、何をすればいいか段々分かってきました。一つのことを終われば、すぐもう一つのことが始まります。その流れで、いつの間にか終わります。この流れは、私に、ありのままの生活をすることを教えました。

内弟子を始めてから、何回か頭に浮かんできた質問は、なぜ私が内弟子をすることにしたのか？というものでした。そして、ある日の小平の朝の稽古のあと、バーバラ先生と相談しました。バーバラ先生と正直に話すと、バーバラ先生が答えを出して下さいました。最初の答えは、私は辞めたいときに辞めてもいいということです。この答えはシンプルですが、私の頭を悩ませました。そして、私がここに来た理由は、毎日の生活から離れて、合気道に集中するためでした。最初の質問に答えは出ましたが、次の質問は、私は何のために合気道をしているのか？でした。私は2007年に三ヶ月間内弟子をやったときに、合気道のフィジカルな面を学びました。でも、私にとって一番大事だったのは、合気道を教える立場として、どのようになればいいのかということと、生徒のことをどのようにならなければならないかということでした。もう一つ学んだのは、他にも異なる色々な教え方があるということと、その教え方が私たちの合気道にどのような影響を与えるかということでした。これは、私の目的と言えるでしょう。

昔の言い方で”郷に入っては郷に従え”という言葉があります。内弟子は、全くその通りです。日々が過ぎて行くに連れて、私の行動は、日本人と同じようになってきていると感じていました。例えば、畳の掃き方は、すごく日本的だったと思います。



この掃除を、毎回の稽古前と稽古後にやっていました。掃除が終わったら、ゴミを掃除機で取るよりも、外に出して、また外を掃除して、そのゴミを集めて外に捨てています。そして網戸のことです。アメリカでは、虫を避ける為につかっていますが、日本では、稽古するときには、網戸を使っていません。その理由は、稽古中に外の新しい空気を道場に入れる為です。

内弟子は、すごく忙しいですが、楽しいこともあります。例えば、私達は、道場の新聞の折り込みの手伝いをしていました。新聞の中にチラシを入れながら、他の内弟子と、明治大学の学生の石山さんと話す時間は、とても楽しかったです。この作業は、大変忙しかったのですが、とても楽しかったです。ただ働いたり掃除したりすることは、笑ってはいけないということではありません。稽古後の皆と一緒に掃除するのも、とても楽しかったです。私達は、一緒に働いて、そしてお互いを笑わせる為に、色々なことを考えていました。

内弟子として、ミスをしてしまうのも当然です。私もたくさんミスしましたが、ミスしたことよりも、そのミスをどのように直せば良いかを考えていました。その時間違えても、次に同じ仕事をする時間違えないように、心掛けていました。道場の皆さんの為に道場を綺麗にすることを心掛けていました。これは私の内弟子生活の良い目的だったと思います。

道場で良い雰囲気を作るのは合気道家として大事だと思います。道場に来る皆さんを、幸せにしたいと思っていました。道場において、良かったと思わせるようにしていました。この経験を、アメリカに帰っても生かします。

もし人々が道場に来て、良い時間を過ごせるのであれば、道場にもっと行きたくなるでしょう。人々はどこにいても、その輪の中に入りたくくなります。将来的には、私もそのような雰囲気の道場を作りたいです。

内弟子の間に、たくさんの友達が出来ました。そして、その友達は、私の内弟子生活を楽しくさせてくれました。皆に感謝しています。レジェップは、すごく良い内弟子の先輩で、私が仕事を覚える為に、良く手伝ってくれていました。そして彼は、とても優しく、落ち着いていて、理解力のある人でした。私は、そのような内弟子の先輩に会えて、本当に良かったと思います。そして、弘明先生はいつも優しく、幸せでした。弘明先生の全てのクラスは楽しくて、一緒に稽古をしている時に、いつも笑顔で技を教えようとして下さいました。そして、小



林総師範は、いつも大きな影響力のある人でした。私をいつも歓迎して下さいました。総師範は、物事に対して、ネガティブな考え方を持っていません。そして人々を動かす力があります。私の、小林道場での内弟子生活はとても楽しかったです。この経験は、私に合気道の先生としてたくさんのお話を教えてくれました。